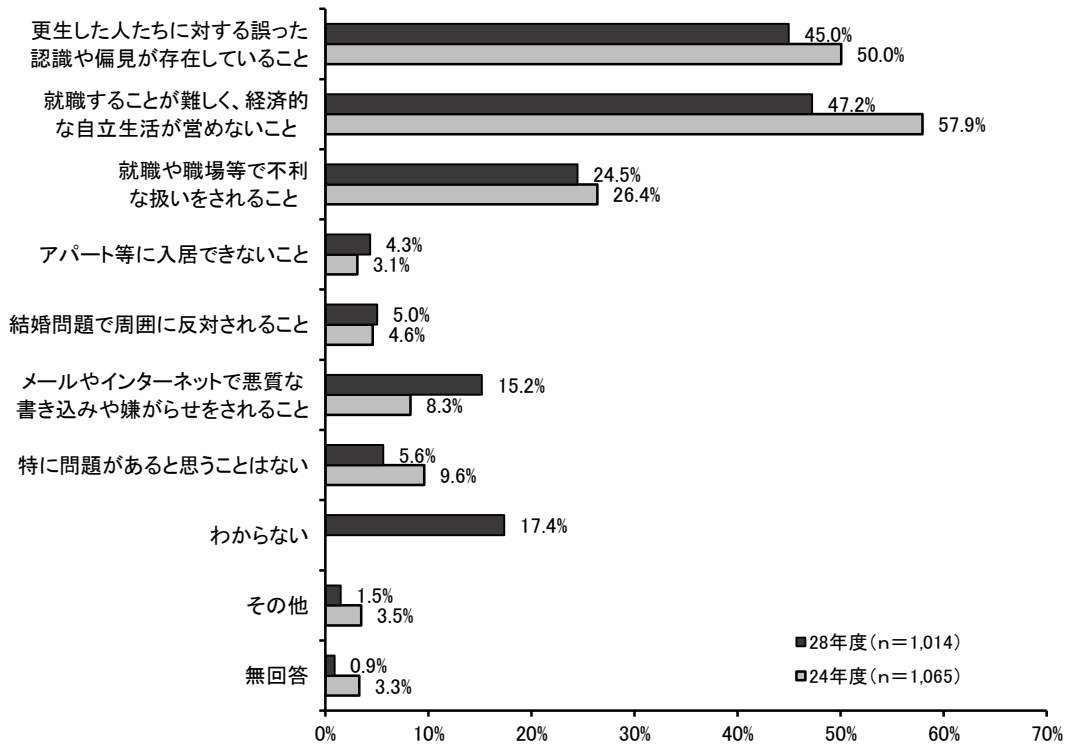


3-10 刑を終えて出所した人の人権について

(1) 罪や非行を犯した人が、罪をつぐない社会復帰する場合、問題があると思うこと

問26 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。



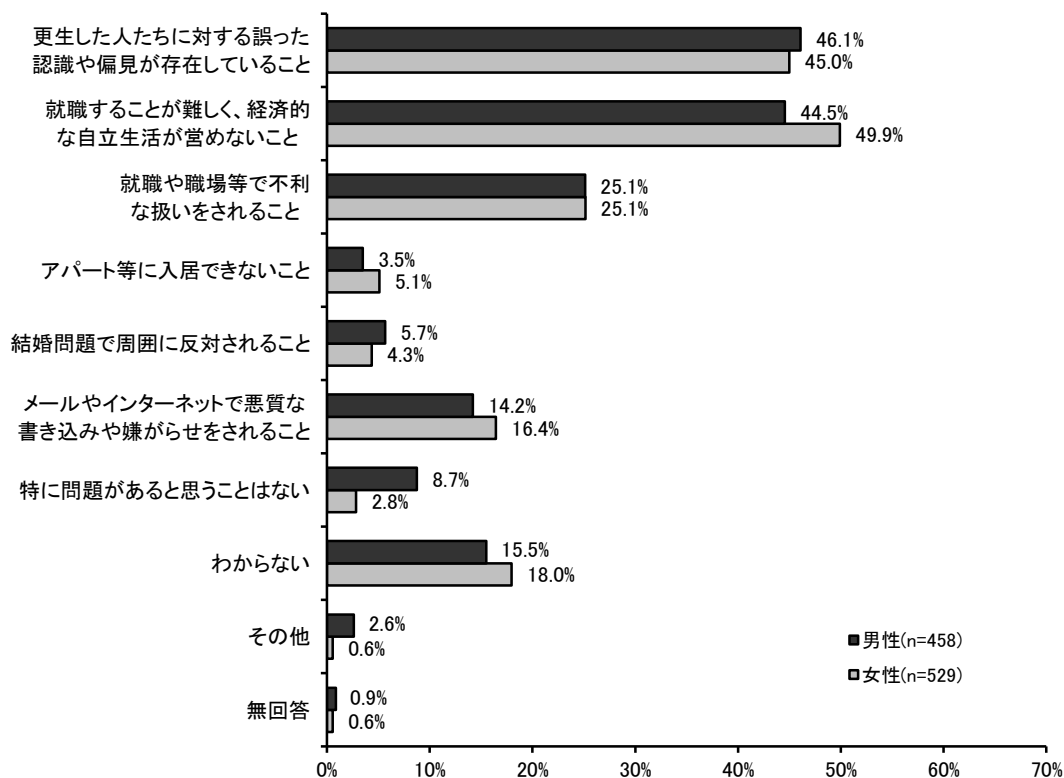
■「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が47.2%と最も高く、次いで「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が45.0%、「就職や職場等で不利な扱いをされること」が24.5%の順となっている。

【前回比較】

■「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」は前回より10.7ポイント、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」は5.0ポイント減少しており、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること」は6.9ポイント増加している。

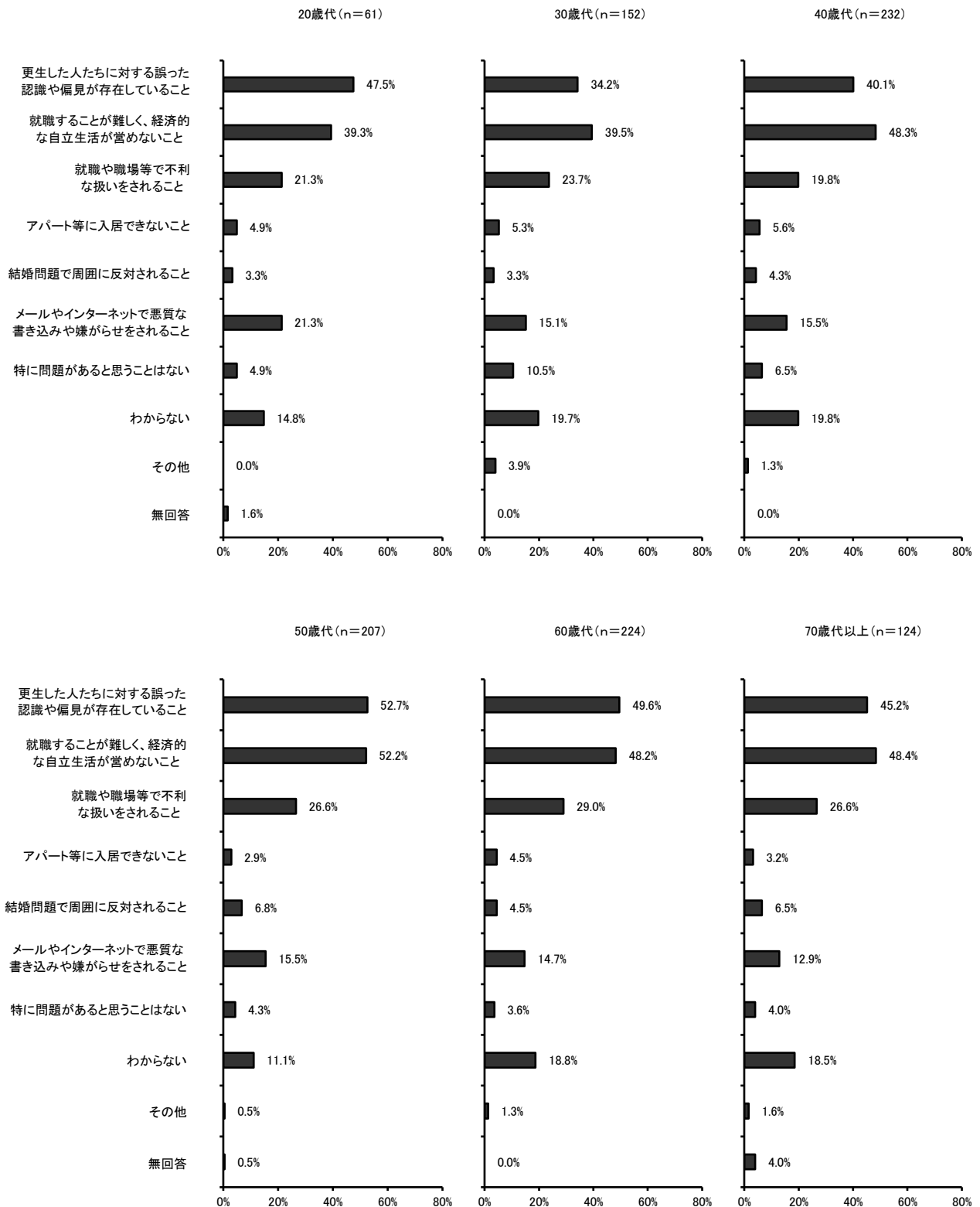
※「わからない」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 男性は「更生した人々に対する誤った認識や偏見が存在していること」、女性は「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」の割合が最も高くなっている。
- 「特に問題があると思うことはない」の割合は、女性の2.8%より男性が5.9ポイント高くなっている。

年代別

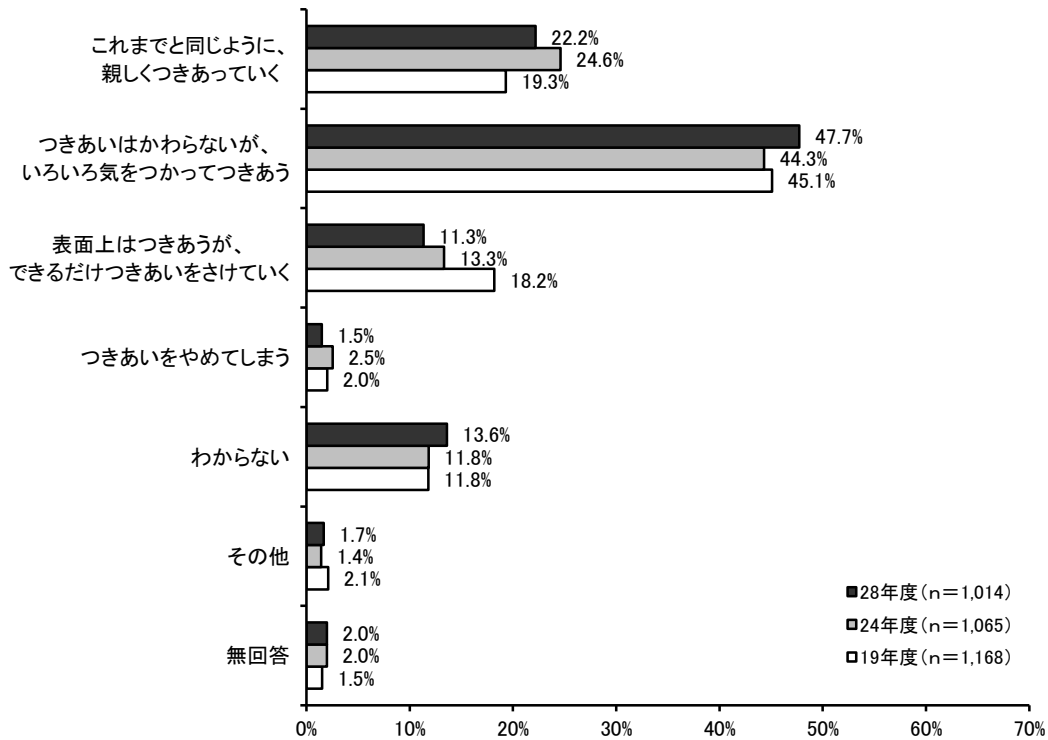


■ 20歳代と50～60歳代は「更生した人々に対する誤った認識や偏見が存在していること」、30～30～40歳代と70歳代以上は「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」の割合が最も高くなっている。

■ 「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること」は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

(2) 日頃親しくしている人が、刑を終えて出所した人だとわかったときの対応

問27 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。あなたのお気持ちにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

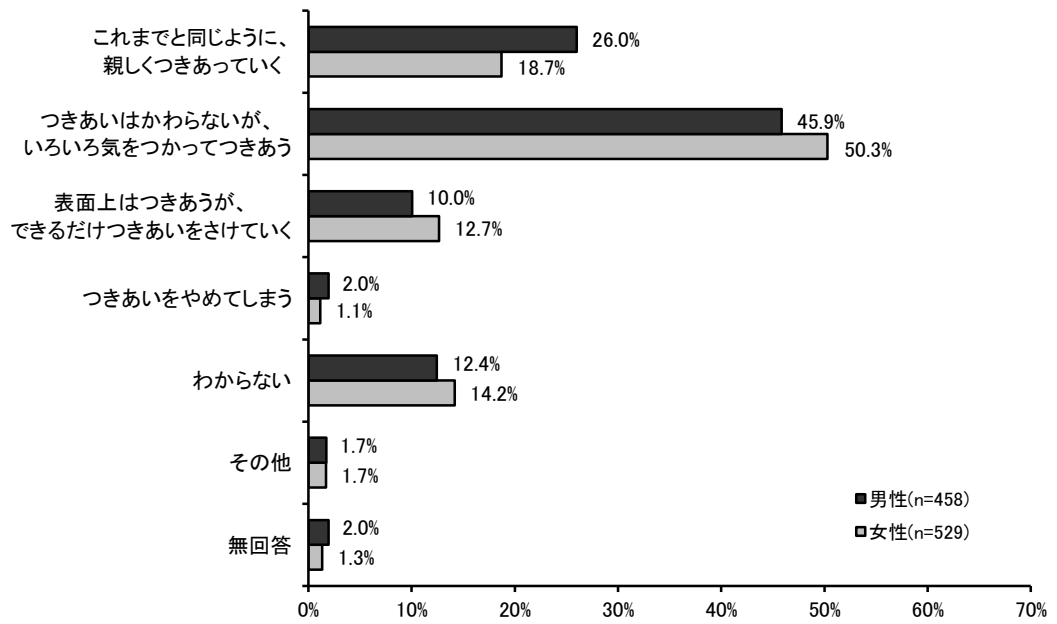


- 「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が47.7%と最も高く、次いで「これまでと同じように親しくつきあっていく」が22.2%となっている。
- 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」が11.3%、「つきあいをやめてしまう」が1.5%で“つきあい方が変わる”人は12.8%であった。

【前回・前々回比較】

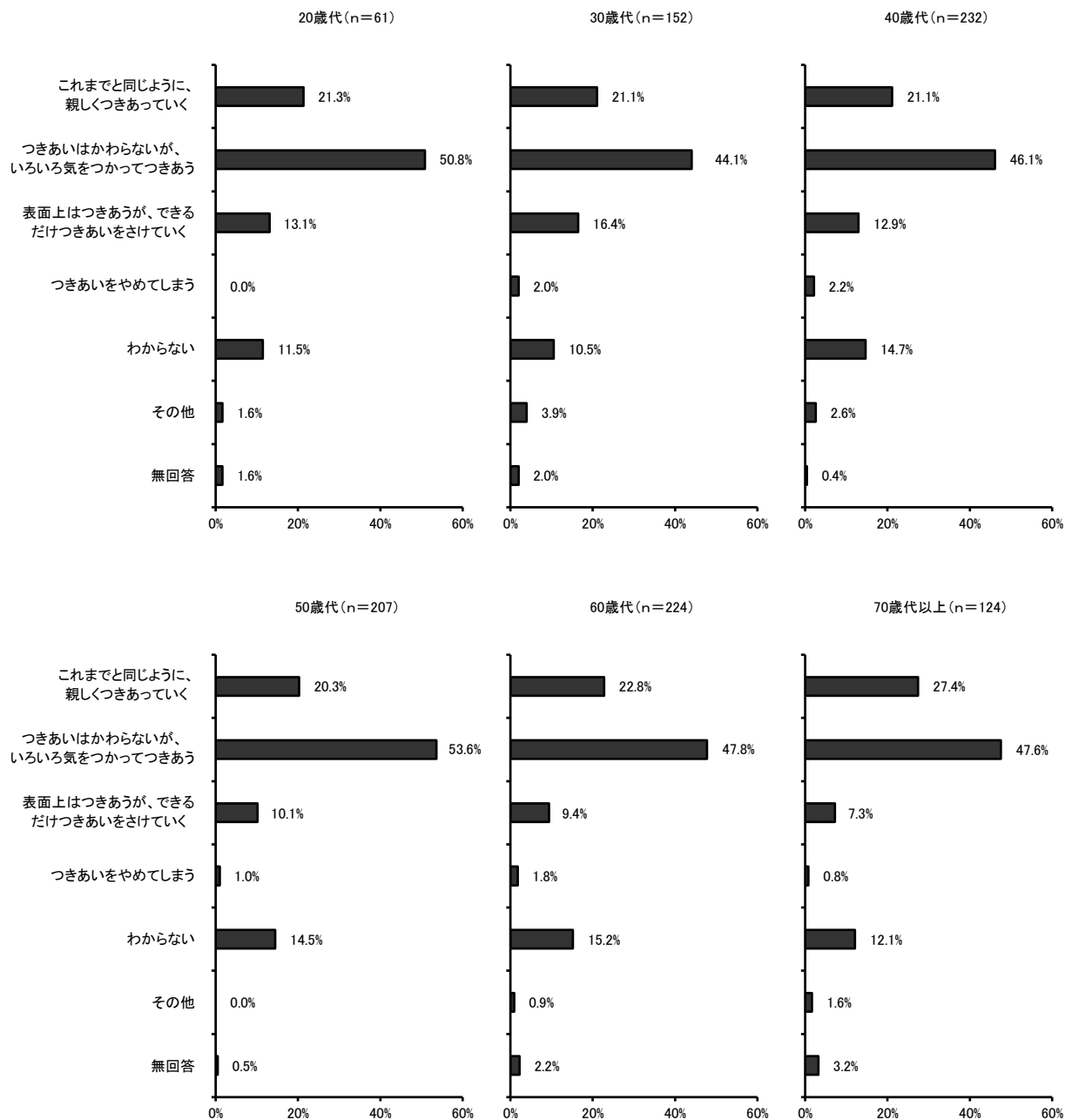
- 「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」は前回より3.4ポイント増加しており、「これまでと同じように親しくつきあっていく」は2.4ポイント減少している。
- 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」は前々回より6.9ポイント減少している。
- “つきあい方が変わる”人は、前回の15.8%よりやや減少傾向にある。

男女別



■ 「これまでと同じように親しくつきあっていく」の割合は、女性より男性が 7.3 ポイント、「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合は、男性より女性が 4.4 ポイント高い。

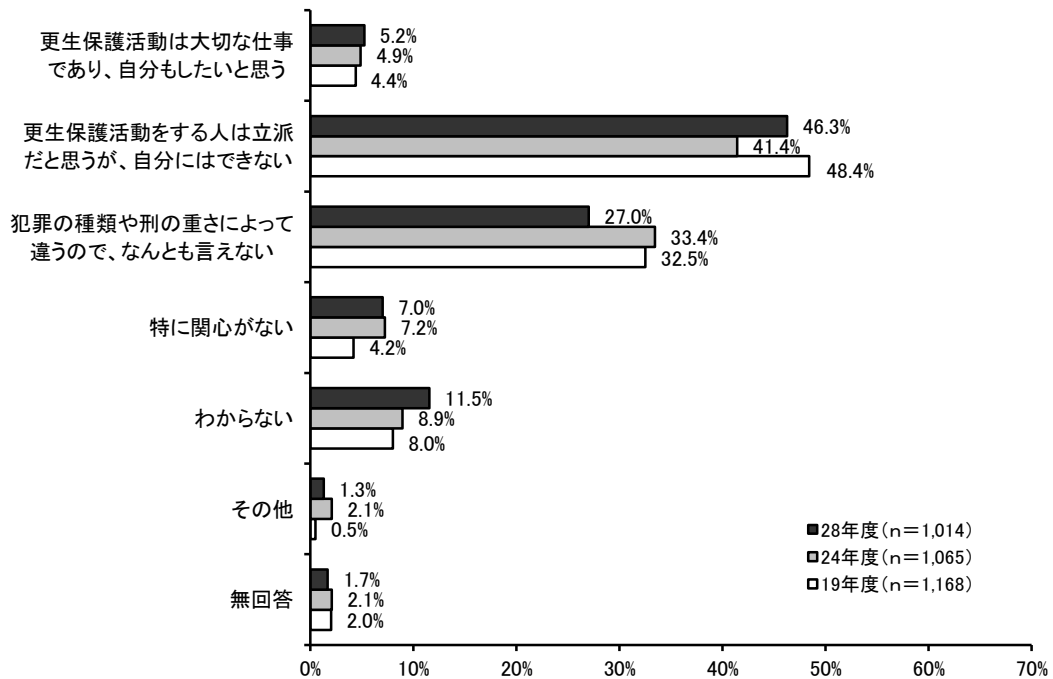
年代別



- いずれの年代においても「つきあいはいかかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が最も高く、20歳代と50歳代で5割を超えている。
- 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

(3)「更生保護」活動への参加呼びかけに対する対応

問28 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動をしませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

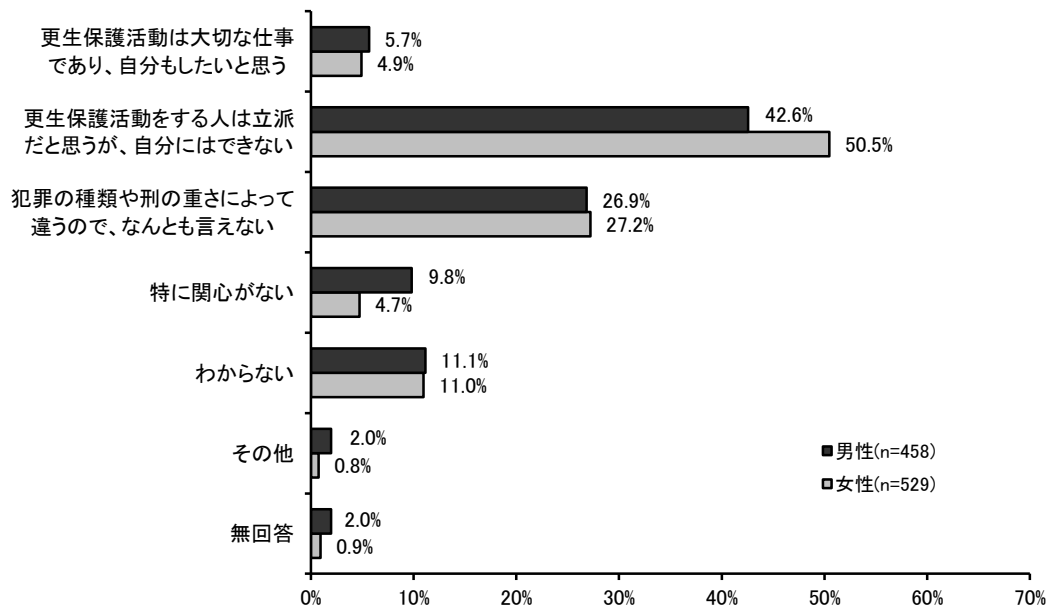


- 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」が46.3%と最も高く、次いで「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が27.0%となっている。
- 「更生保護活動は大切な仕事であり、自分もしたいと思う」は5.2%にとどまっている。

【前回・前々回比較】

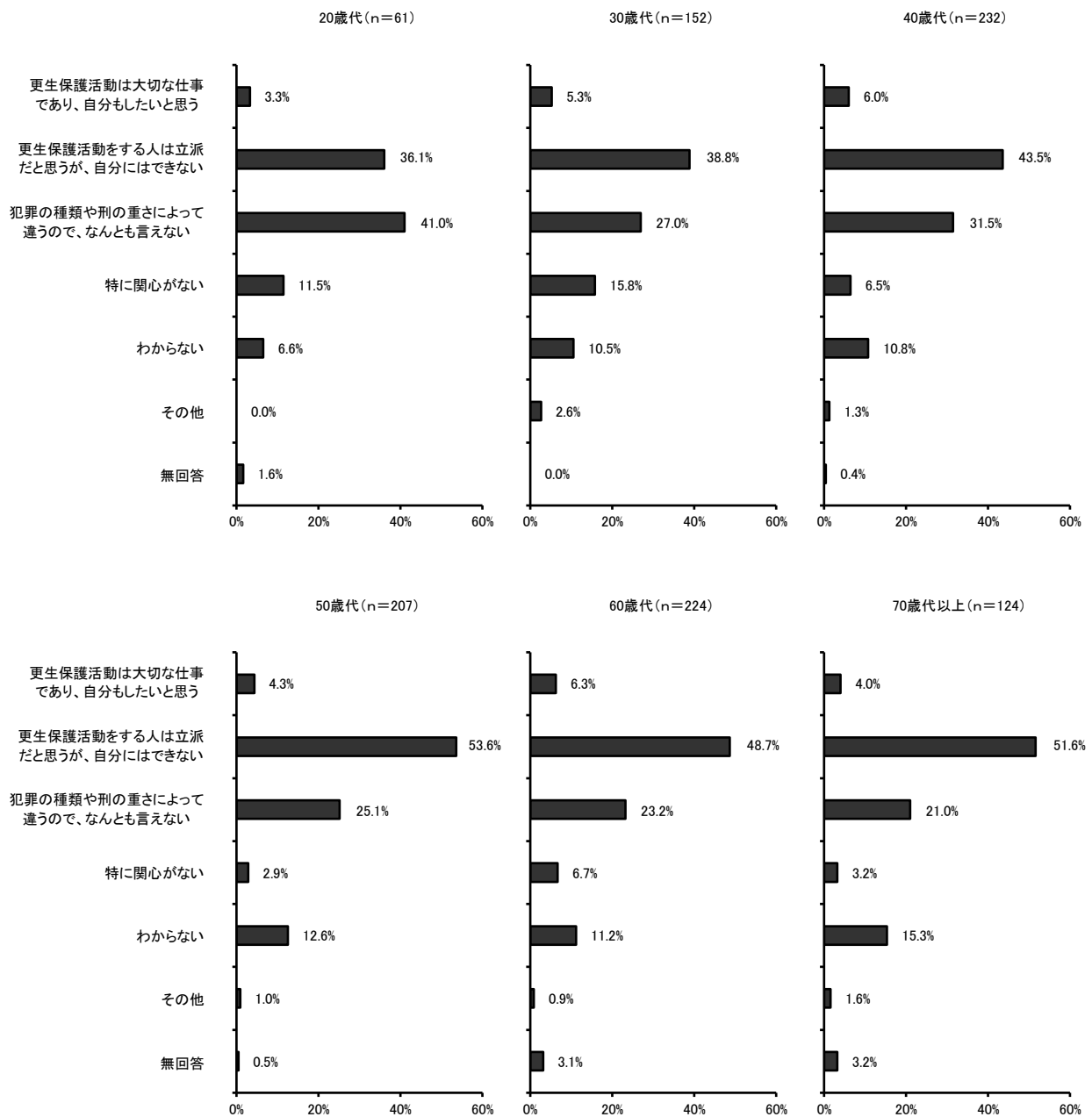
- 「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」は前回の33.4%6.4ポイント減少しており、「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」は前回の41.4%より4.9ポイント増加している。

男女別



- 男女共に「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合が最も高く、男性より女性が7.9ポイント高くなっている。女性は5割を超えている。
- 「特に関心がない」の割合は、男性がやや高くなっている。

年代別



■ いずれの年代別においても大きな違いはみられないが、「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」は、50歳代と70歳代以上で5割を超えている。

■ 「特に関心がない」は、いずれの年代より20～30歳代でやや高くなっている。